

目次

[今週号は 2022 年 7 月 29 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：スタグフレーション	1
日本株銘柄情報：サーバーワークス(4434)	2
日本株銘柄情報：マネジメントソリューションズ(7033)	3

スタグフレーション

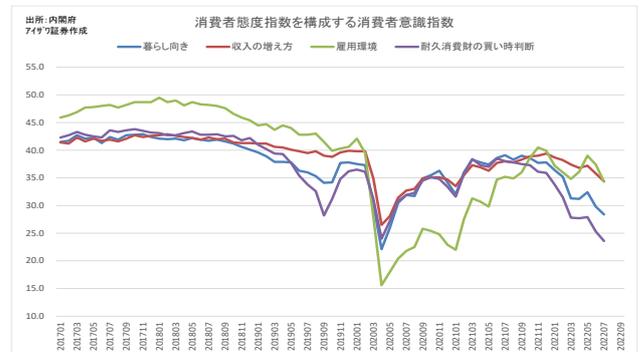
笹木 義次

2022 年 7 月の消費動向調査によれば、消費者の景況感が悪化する下で、物価の見通しが引き続き上昇している事が示されました。スタグフレーション的な状況です。

2022 年 7 月の消費者態度指数は 30.2 となり前月差で 1.9 ポイント低下しました。低下は 2 カ月連続でした。また水準も 2020 年 3 月の 31.1 を下回りました。

消費者態度指数を構成する、暮らし向き、収入の増え方、雇用環境、耐久消費財の買い時判断の 4 つの意識指標のすべてが 2 カ月連続で低下しました。消費者の景況感はかなり悪化している事が示されています。

消費者動向調査では 1 年後の物価に関する見通しが示されています。1 年後の物価見通しでは 5%以上上昇するとの回答の構成比が 62.3%と最も大きくなりました。また、5%以上上昇するとの構成比の前年同期差も拡大しています。



マネジメントソリューションズ (7033)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/7/29)	3,070.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	515 億円

採用増加営業減益

マネジメントソリューションズ(以下 MSOL と略称)は、プロジェクトの実行支援のコンサルタントサービスを提供しています。収益モデルはコンサルタント数×稼働率×単価です。コンサルタント数の増加が事業の成長に繋がります。

MSOL の 2022 年 10 月期上半期の業績は、売上高が 52 億 4 百万円と前年同期比で 59.1% の増収に、営業利益は 2 億 19 百万円と前年同期比で 24.6% の減益となりました。売上高は、コンサルタントの採用を積極化した事で、大幅な増収となりました。今上半期中途採用のコンサルタントは 186 名となり期初の採用計画を上回りました。売上高の実績も計画対比では 13.3% 上回りました。

営業利益は、採用教育費と広告宣伝費の増加で、減益となりました。また、実績は計画対比で 9.4% 下回りました。採用教育費は 6 億 24 百万円となり前年同期比で 2.7 倍の増加となりました。前述の様に採用を積極化させたからです。

2022 年 10 月期業績計画

MSOL では、2022 年 10 月期の業績は、売上高が 115 億円と前年比で 56.3% の増収を、営業利益は 12 億円と前年比で 30.1% の増益を計画しています。コンサルタントの採用は通期で 300 名超と計画を上回る見込みです。し

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/10	5,228	202	203	-12	-0.8	0.0
2021/10	7,359	922	932	678	40.9	0.0
2022/10計	11,500	1,200	1,210	832	50.1	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

指標	値
今期予想PER	61.1 倍
PBR	20.43 倍
予想配当利回り	0.00 %

かし、期初計画は据置いています。

2023 年 10 月期以降成長加速局面に

期初計画の 260 名を上回る 300 名超の採用を行うのは、採用が可能な時に出来るだけ採用を行うとしたからです。背景には、需要に対してコンサルタント不足があります。プロジェクトの実行支援のコンサルタントに対する需要は、既存顧客企業のリピートが多く、引き合いがあってもコンサルタントの人員数が不足気味で、新規顧客企業の需要に応えられない状況が続いていました。

計画を上回るなど、採用が増加する事で、ある程度の質の低下は見込んでいるようです。中途採用のコンサルタントの戦力化のための期間は、2 週間から 1 ヶ月程度です。今上半期中途採用したコンサルタントは、通常ですと下半期には売上高が見込めるようになります。そのため今下半期の売上高が期初の計画を上回って着地するかどうか注目しています。今下半期の売上高が想定通り推移すれば、大量採用にも関わらず売上高の増収につながる事で、2023 年 10 月期以降の成長が加速すると筆者は考えています。

57039 株 MSOL 東証 1 月 21/1/18~22/7/25
日付:22/07/29 高:3015 低:2180 安:2963 現値:3070.425 出来高:218.8
W:1022.5 移動平均(10):2243.1 MA10:2402.05 MA20:3588.00
SI:出来高(15):283 V:1029.5 MA18:1887.077 MA26:1374.827



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa